令和4年度 第2回 大阪府立みどり清朋高等学校 学校運営協議会 記録

日時:令和4年10月3日

 $11:00\sim 12:30$

記録:湯浅

- 1 授業見学 (芸術、英語、理科)
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 令和4年第1回授業アンケート(教頭)(別紙資料)
 - 7月に実施。平均は3.30。授業満足度は、88%の生徒が3か4を選んでいる。
 - ・全体的に上昇はしていないが、現状維持をしている。
 - ・2「授業中は集中して先生の話を聞き、授業に参加している」が1番高い
 - ・7「先生は生徒の意見や要望聞き、授業改善に生かしている」が2番目に低い。
 - ・1「授業内容について必要な予習復習が行えている」が1番低い。
- 5 令和4年度学校教育自己診断アンケート項目について(首席)(別紙資料)
 - ・教育庁からの指示で29番目に項目追加。「学校は一人一台端末を効果的に活用している」
 - ・他は例年と同じ。経年変化を見ていく。Google フォームを活用して実施予定。
- 6 令和5年教科書採択一覧について〈教務主任〉(別紙資料)
 - ・1、2年までが新教育課程。科目名が変更になっている。3年生は旧課程のまま。
 - ・次年度教科書は並べてある。教員は日夜勉強する必要を感じている。
- 7 本校の学校教育の進歩状況 (3学年および4分掌長より) (別紙資料)
 - 1年 ・きちんと時間を守って、着席できている。
 - ・学力については、スタサポ、クラッシー動画の活用や課題の配信も行っている。
 - ・2年次のコース選択。今のところ理系は少ない。
 - ・保護者対象進路説明会、大学見学も予定している。
 - **2年** ・ 2年生になって遅刻が増えてきている。化粧をしている生徒もいる。
 - ・挨拶ができない生徒も多い。
 - ・修学旅行については、過去2年間は行き先や日程を変更して実施した。14期は時期や行き先を変更しない予定。14期の生徒は中学校で修学旅行に行けていない学年なので、ぜひ連れて行ってあげたい。
 - ・受験勉強をまだ始めていない生徒が多い。
 - **3年** ・ 3年生になって安易に欠席する生徒が増えている。
 - ・様々な教科で講習を実施。生徒も大変よくがんばっており、卒業後の進路が楽しみである。
 - ・母数の大きい大手の模試を受験するよう勧めている。

教務企画部

- 新2年生は新教育過程。全ての科目においてシラバスを一から作成しなければならない。
- ・中学校ではすでに導入済みだと思うが、高校では観点別評価が新課程から導入されている。評価の仕方などを授業力向上委員会の会議などを通して検討している。
- ・学校説明会は年間4回実施している。
- ・第1回説明会は、今のところ、生徒 100 名、保護者 50 名ぐらいが参加予定。ホームページ から直接申し込む形にしている。第 $1\sim3$ 回は部活動体験あり。第2回は授業体験あり。

生徒指導部

- ・遅刻指導の強化、部活動の活性化、身だしなみ指導の進捗状況。
- ・遅刻指導にかかる生徒数が昨年度よりも大幅に減少。
- ・部活動活性化について。1年生の加入率は58.9%。
- ・体育祭でも運動部員が運営を支えてくれた。
- ・交通事故については第3回の時にご報告する。現在まで大きな事故はない。

進路指導部

- ・学習習慣の確立が大切。
- ・放課後講習や夏休みの講習を行った。
- ・3年生は文化祭が終わってから本格的にエンジンがかかった感じ。それに伴って、自習室の使用者も増加した。朝、学校始まる前5名、放課後10名ぐらい。
- ・模試について。3年生が9月に60名ほど受験。入試が本格的に始まるのが11月頃。模試の 結果をもとに受験校を決定する。
- ・ガイダンスに関して。3年生は、総合型選抜(A0)を夏休みからエントリーする。専門学校はほぼこの入試形式。エントリー、出願を通して合格が決定していている生徒もいる。
- ・大学、短大の総合型選抜に向けて面接指導を行っている。
- ・分野別説明会。1年は大学見学、2年は校内で実施予定。
- ・保護者向け進路ガイダンス。近畿大学の教授に依頼。保護者の参加は50名ぐらいの予定。
- ・日本学生支援機構の手続きは完了。167名が申し込み。

保健部

- ・コロナに関しては、この時期は食事を学校でする機会が少なく、なんとかやり過ごしたという 感じである。
- ・ 今は黙食の徹底はしていない。黙食はもっと感染のピークになってから実施した方が効果的かもしれない。
- ・清掃に関しては、技師さんが非常に丁寧にしてくださっている。通常の生徒による清掃はもっ と必要かもしれない。

8 スクールミッション案について〈校長〉(別紙資料)

・第1回で概要をお知らせした。学校経営計画にも掲載。教育庁が再構築し、学校運営協議会で 承認を得たうえで、段階的に提出するよう指示されている。将来構想委員会と職員会議で情報 共有をしている。

9 意見交換、その他

「観点別評価について」

- ・観点別評価(3観点)について、大学側から調査書の度数分布が変化するのかどうかに興味がある。
- ・大阪府立高校は1:1:1。私立高校は5:3:1の学校や教科によってバラバラの学校もある。
- ・他府県・・・成績と調査書を分けているところもある。
- ・調査書の度数分布が上位・下位が増えるのか、山がまん中にくるのか。
- ・高校としては、できるかぎり他校の情報も入手してやっていきたい。ただ、成績をつけるの に以前よりも時間がかかっている。
- ・また、5段階成績で5が出にくくなり、指定校の基準を満たすことのできる生徒が減少する のではと心配している。
- ・中学校では、教員間でズレがでないこと、説明責任を果たせるようにすること、を意識して いる。

「授業見学の感想」

- ・生徒の授業態度が以前よりかなり良くなっている。以前は寝ている子もいたが、今はみんな 真面目に受けている。
- ・それが、授業アンケートの「集中して先生の話を聞いている」の上昇につながっている。
- ・また、大学進学率の上昇にもつながっている。
- ・全学年、とても静かに授業を受けている。遅刻が少ないということがいい影響を与えている と思う。

「あいさつについて」

- ・難しい問題である。小学生でも、きちんとあいさつできる子、できない子がいる。
- ・本人の資質なのか、家庭教育の影響かの判断は難しい。

「学校の雰囲気等」

- ・制服の着こなしが良くなっている。
- ・生徒の意識の高さがあらわれている。
- ・中庭がとてもきれいに整っていることが、生徒が落ち着いてきたことにつながっていると 思う。
- ・コロナ以前と比較して、欠席することに慣れてしまっている生徒が増えている。
- ・欠席することに対するハードルが低くなっている。
- ・「体調が少しぐらい悪くてもがんばりなさい」と言いにくくなってしまった。
- ・周囲の生徒も、欠席理由や欠席者が誰であるかを気にしなくなってきている。

10 次回の日程

第3回 令和5年2月13日(月) 11:00~12:30